

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医薬品各論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	4校舎502
担 当 教 員	川原 一仁	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
当講義により、日本薬局方に従う各種測定に関する原理を理解し、その理解のための生化学、物理学に対する知識も習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
講義中の質疑応答への参加、不定期に行う小テスト、と期末テストの点数に基づいて評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
第16改正日本薬局方 第17改正日本薬局方						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義に対しての復習、不明点の明確化を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
日本薬局方に記載されている測定方法は、1年時に講義で行った生化学等に知識に基づいた方法です。出来るだけわかりやすく説明するように心がけますが、わからない点があれば遠慮なく講義中、終了時に質問してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション 今後の授業を進行して行くに当たって思案できる	テキスト		
		各コマにおける授業予定	講義を行うに当たっての心構え、注意事項等の説明をする。生徒の現在の生化学、物理学に対する理解度を調査し、今後の授業を進行して行くに当たって思察する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(化学的試験法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	塩化物試験法や炎色反応試験法などの原理について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(化学的試験法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	定性反応やメタノール試験法などの原理について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(物理的試験法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	クロマトグラフィー各種についての原理について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(物理的試験法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	分光学的測定法各種についての原理について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(物理的試験法)について理解する(Ⅲ)	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	その他の物理的試験法(浸透圧測定、水分量測定など)の原理を理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(物理的試験法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	その他の物理的試験法(粘度測定法、粉末X線回折測定法など)の原理について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(粉体物性測定法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	粉体の粒子密度測定などの原理について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	生物学的試験法/生化学的試験法/微生物学的試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	エンドトキシン試験法、微生物限度試験法などについて		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	生薬試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	生薬の微生物限度試験法について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	製剤試験法について理解し説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	製剤の粒度の試験法、崩壊試験法について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	製剤試験法について理解し説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	注射剤の不溶性異物検査法、注射剤の不溶性微粒子試験法について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	容器・包装材料試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	プラスチック製医薬品容器試験法などについて		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	滅菌法及び無菌操作法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	滅菌法及び無菌操作法に合わせて、標準品、標準液、試薬・試液、計量器・用器について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめを通じて浮き彫りになった今後の課題について説明できる	テキスト	これまでのテキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	前期の総まとめ		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医薬品各論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	4校舎502
担 当 教 員	川原 一仁	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
当講義により、日本薬局方に従う各種測定に関する原理を理解し、その理解のための生化学、物理学に対する知識も習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
講義中の質疑応答への参加、不定期に行う小テスト、と期末テストの点数に基づいて評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
第16改正日本薬局方 第17改正日本薬局方						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義に対しての復習、不明点の明確化を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
日本薬局方に記載されている測定方法は、1年時に講義で行った生化学等に知識に基づいた方法です。出来るだけわかりやすく説明するように心がけますが、わからない点があれば遠慮なく講義中、終了時に質問してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション 今後の授業を進行して行くに当たって思案できる	テキスト		
		各コマにおける授業予定	講義を行うにあたっての心構え、注意事項等の説明をする。生徒の現在の生化学、物理学に対する理解度を調査し、今後の授業を進行していくにあたって思案する。			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(物理的試験法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	その他の物理的試験法(年度測定法、粉末X線回析測定法など)の原理について			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(物理的試験法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	その他の物理的試験法(年度測定法、粉末X線回析測定法など)の原理について			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(粉体物性測定法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	粉黛の粒度密度測定などの原理について			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般試験法(粉黛物性測定法)について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。	
		各コマにおける授業予定	粉黛の粒度密度測定などの原理について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	生物学的試験法／生化学的試験法／微生物学的試験法について理解し説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	エンドトキシン試験法、微生物限度試験法などについて		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	生物学的試験法／生化学的試験法／微生物学的試験法について理解し説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	エンドトキシン試験法、微生物限度試験法などについて		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	生物学的試験法／生化学的試験法／微生物学的試験法について理解し説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	エンドトキシン試験法、微生物限度試験法などについて		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	生薬試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	生薬の微生物限度試験法について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	製剤試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	製剤の劉殿試験法、崩壊試験法について		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	製剤試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	注射剤の不溶性異物検査法、注射剤の不溶性微粒子試験法について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	容器・包装材料試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	プラスチック製医薬品容器試験法などについて		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	容器・包装材料試験法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	プラスチック製医薬品容器試験法などについて		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	滅菌法及び無菌操作法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	滅菌法及び無菌操作法に合わせて、標準品、標準液、試薬・試液、計量器・容器について		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	滅菌法及び無菌操作法について説明できる	テキスト	テキストについてよく読み込んでおいてください。
		各コマにおける授業予定	滅菌法及び無菌操作法に合わせて、標準品、標準液、試薬・試液、計量器・容器について		